

第2回「東京国際空港再拡張に係る環境影響評価技術検討委員会」 議事概要(案)

【開催日時】 平成15年 7月28日(月)16:00～18:30

【開催場所】 バーク芝浦ビル 3F 大会議室

【資料】

資料1 第1回「東京国際空港再拡張事業に係る環境影響評価技術検討委員会」議事概要(案)

資料2 - 1 東京国際空港再拡張事業(仮称)に係る環境影響評価方法書(案)について

資料2 - 2 東京国際空港再拡張事業(仮称)に係る環境影響評価方法書(案)について

1. 開会挨拶

2. 議 事

- ・各資料に基づき説明を行った。
- ・各委員から以下の発言があった。

委 員:大気関係で、横ばいとか減少とか増加とかいう評価をしているが何を基準に評価しているのか、明確にした方がよいのではないか。

事務局:明確にする。

委 員:これを読む人に何を理解してほしいのかという絞り込み、資料整理からきた具体的な課題みたいなものはどの辺まで入れるのか。

委 員:今回の事業がどういう形で影響するか、具体的に生態系への影響をどう考えているのか。東京湾については若干記載があったが、多摩川、東京港、羽田周辺の特質というところが今回の整理の中ではあまりふれられていない。

委 員:現況の要約をつけるのは大変なことなので、調査項目の選定では、現地の状況をこう判断して項目を選んだというようなことで何か説明ができればいいのではないか。

委 員:地域概況を把握して、評価すべき項目に結びついてくると思うが、この考え方と方法の流れとの関連とか、その辺を最初の方に示した上で各論に移っていかないといけない。

委 員:全体をこういうことでつくっているということがわかるような書き込みができれば、工夫すること。

委 員:河川の状況、流況で低水、平水、豊水とあるが、洪水最大流量というデータはかなり有効になると思われる。各年度の最大流量等があった方が参考になる。

事務局:資料を確認して記載する。

委 員:評価の手法の選定のところは文章が何を言っているかよくわからない。いろんな調査をした結果どうしようかというところで、意味がわからないのでは非常に困る。

事務局:前提として工法が決まっていないため、評価の手法の選定のところには、具体的な環境保全措置等の記載ができない。

委 員:環境基準をクリアしているから回避、軽減したということではなく、その前にそういう努力をしてここまで下げたという精神が生かされるかどうかが一番重要。

委 員:回避・低減する方策を提案、検討するということが、もう少し具体的にきちんと正確に書く必要があるのではないか。

第2回「東京国際空港再拡張に係る環境影響評価技術検討委員会」 議事概要(案)

- 委員:調査等の項目として選定した理由、しなかった理由をもう少し明確にしていきたい。
- 事務局:省令の標準項目から削除・追加する場合に説明することとする環境影響評価法の考え方に則って整理する。
- 委員:準備書で内容について大幅な変更が可能だというのであれば、現状でわからないことをとにかくデータが欲しいという方法書のスタイルができる。全体の戦略として、何を評価したいのか、どのような方法を開拓したいのか、という辺りの設定をもう少し明確にすべきである。
- 事務局:準備書に向けては、工法が決まって、具体的な回避・低減もしくは環境保全措置について検討することも含めて、さらに内容を充実させていくこととしている。
- 事務局:絞り込みの仕方について検討を進めるが、方法書の書式をどうするかという基本の問題になってくるので工夫を考えたい。
- 委員:潮流の計算をすると、水温の分布が出てくるが、これは潮流の中に入っているということでしょうか。大気の方を計算すると、浮遊粒子状物質のところの計算で、局所的な気象の計算があるが、気温もその中に入ってくると考えてよいか。
- 事務局:水温の分布も気温も含まれる。
- 委員:既存の羽田空港に降った雨の処理をどう取り扱っているのか。また、路面排水等のいわゆる面源負荷の評価というものは必要なのか整理が必要。
- 事務局:雨も下水と分流して処理している。
- 委員:時間・空間のスケールが違う項目を同じような手法でやるということでもないだろうから、これを考えていることを記述すること。
- 委員:東京湾全体の変遷を考える場合に、過去のデータも含めて検討するとともに、東京湾はどのようになっているかまで含めて考えること。
- 事務局:時空間的なスケールが異なるということ、検討しているということについては、記載の方法等をもう一度考える。
- 委員:方法書の位置づけをはっきりさせるということと、東京湾の概況と環境影響評価項目について方法書の中での位置づけ、関連をはっきりさせる必要がある。方法書の全体の中でのねらいと、構成、各章の関連、その辺を最初の方できちんと明確にすることが必要。